

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70075
事業名	地域共生医療推進費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス 医療政策課			電話番号	211-3517
施策名	多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本市は2040年頃をピークに高齢者人口の増加が続き、これに伴って在宅医療の需要も更に増加する見込みである。一方で、本市の10万人当たりの在宅医療提供施設数は全国平均や政令市平均を下回っている状況にあり、在宅医療提供体制の確保が喫緊の課題となっている。 また、生産年齢人口の減少や医師の働き方改革が施行され、在宅医療を担う人材を育成する必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①在宅医療を担う人材の育成 医師、看護師、歯科医師、薬剤師を対象に研修を実施 医師:15回(受講者数984人)、看護師:8回(受講者数240人)、 歯科医師:2回(受講者数220人)、薬剤師:2回(受講者数259人) ②在宅医療を担う医師を支援するためのグループ診療体制の整備 主治医・主治医を支援する副主治医・在宅患者急変時の受入を担う後方支援医療機関等から成るグループを10区で構成し、夜間休日等の代診制や患者急変時の後方支援医療機関での受入体制を運用 (後方支援病院当番利用件数:20件) ③市民への医療に関する情報提供・普及啓発 在宅医療をテーマにした市民向け講座を開催(2回)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	在宅医療体制の量的・質的な拡充やかかりつけ医の普及等により、市民が住み慣れた地域で「もれ」や「きれめ」なく安心して必要な医療を受けられる。
	他都市の状況	全国の都道府県や政令市においても同様の取組が行われている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	25,617 千円	うち特定財源	22,548 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	46,000 千円	うち特定財源	43,539 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和5年度決算額	25,739 千円	うち特定財源	22,855 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和6年度予算額	48,000 千円	うち特定財源	45,598 千円	正規職員業務量	1.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	在宅医療に関する研修の受講者数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1690	3100	1703	2300	2900	3500
	↓						
	アウトカム成果指標1	在宅医療の就業に興味を持った受講者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	—	—	805	1015	1225
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	研修の実績を踏まえ、更なる研修内容充実にむけて、各団体と協議していく。					
	アウトプット活動指標2	グループ診療体制の運用数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		10	10	10	10	10	10
	↓						
	アウトカム成果指標2	在宅療養支援病院・診療所の機関が増える(機関数)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		190	200	193	200	200	200
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	10区でグループ診療体制を運用し、市内の在宅療養支援病院・診療所の機関数は増加傾向にあるが、指標未達となっている。今後、医療機関に対する調査の実施等により理由を把握し対策について検討していく。					

今年度の見直し内容	グループ診療体制における夜間休日代診や後方支援病床受入の利用増加に向けて、実態調査を実施する。
来年度以降の方向性	在宅医療の需要の増加に対応するため、今後も研修を通して在宅医療を担う人材を育成する。 グループ診療体制の整備については、実態調査の結果を踏まえて、体制の拡充にむけた検討を行う。